



九国 の 扉

キュウトビ

vol.23

2025

学校法人九州国際大学
学園広報誌



次の高みに向かって、
ともに挑む。進化する。

「九国」の進化は、次のフェーズへ。

KYUJUKOKU Evolution

「九国」の進化は、 次のフェーズへ。

地域に、未来に、
より貢献する人材育成をめざし、
新たな「九国」の挑戦が始動します。

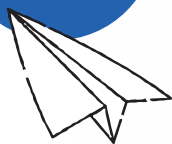
1930年、八幡の地に働きながら学べる「九州法学校」が誕生しました。それが、「九国」のルーツです。社会とつながり、地域の発展を担う人材を育成することが建学からの使命でした。以来、1世紀近くにわたり、一人の学生を全学で育てるという「塾的精神」のもと、変化を恐れず、常に進化し続けてきた本学の次なる挑戦が、九州国際大学看護学部の新設構想です。看護師不足を解消する取り組みとして、地域医療の現場からも大きな期待が寄せられています。また、多様化する学びを支援するために付属高校に大学進学をサポートする通信制課程も設置認可申請中です。2030年に学園創起100周年を迎える本学園は、社会から必要とされ、地域に愛される「九国」を目指し、これからも挑み続けていきます。

「九国生」に聞きました!

My Evolution Story

「九国」で高みを目指して何かに打ち込み、大きな成長、進化を遂げた3人の学生・生徒さんをクローズアップして紹介します。

ともに挑む。
進化する。



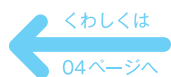
2026年4月(設置認可申請中)
九州国際大学付属高等学校
通信制課程新設

2027年4月(設置構想中)
九州国際大学

看護学部看護学科新設

(仮称)

University



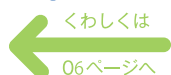
中野さん

九州国際大学
法学部法律学科4年



仲間との協働を学んだゼミ活動。
大きく成長を遂げて念願の警察官に内定した。

High School



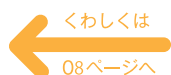
河本さん

九州国際大学
付属高校3年



素人から始めた自転車競技。
全国大会で活躍する選手に進化した。

Junior High School



植木さん

九州国際大学
附属中学校3年



剣道の初心者から初段に昇段。
勉強と両立させて成績も上昇した。

INDEX

新役員からのメッセージ	02・03
My Evolution Story 〈大学〉	04・05
My Evolution Story 〈高校〉	06・07
My Evolution Story 〈中学校〉	08・09
キュウヒト探訪 vol.7 附属中学校教員 工藤 馨子	10
九国生たちの熱い戦い(クラブ&サークル活動の記録)	11
キャンパスレポート	12・13
学校法人九州国際大学 令和6年度決算報告	14~17

新役員からのメッセージ

2025年6月27日から新役員体制がスタート。
学園に対する思いや、これからの抱負をうかがいました。



Kiyoshi
Shinriki

Kazuyoshi
Omine

代表業務執行理事
学校法人 九州国際大学 副理事長

神力 潔司 Kiyoshi Shinriki

地域から求められる学校法人への成長と永続的経営基盤を確立するために、本法人を取り巻く課題に適切に対応しつつ、機動的な意思決定ができる体制を整備していきます。

そのためには、本法人の建学の精神を新たな社会の要請を背景にその解釈と行動を実践的かつ慎重に議論することを通じて、社会の要求に応えることのできる学校法人の実現を目指して以下の取り組みを実行します。

- 社会のニーズへの貢献(変化への対応)
- 学生・生徒への貢献(リレーションシップ)
- 教職員への貢献(教育・研究と効率の共創)
- 地域への貢献(開かれた学園づくり)
- 本法人の経営への貢献(地域に求められる学園づくり)

取組みの実現に向けて、多面的な調査・分析を通じて今後の意思決定や経営計画に役立てたいと考えていますので、目的に対して責任ある主体的態度や提案を歓迎いたします。

付属学校担当理事
九州国際大学付属中学校 学校長

大峯 一純 Kazuyoshi Omine

変化の時代にあって、学校教育には次のような理念が必要かつ重要になると考えます。

「広く社会を俯瞰するグローバルな視野」「自ら判断し積み上げていく主体的な学び」「先進的な学習スキルの獲得」「他者との積極的な協働」「社会の基盤づくりに意欲的に貢献する姿勢」「新たな価値・スキルの創出」等々。

そして、それらを実現させるための「生徒が主役となる学校」づくり。

この「生徒が主役」という考え方に私たちに求められる「進化」の解答があるのではないかと。

九州国際大学付属高校・中学校は引き続き、新たな時代のリーダーとして貢献・活躍する有為な人間を育成・輩出すべく、果敢にチャレンジしていきたい。建学の精神である「塾的精神」のもと、「自走する生徒」(高校)、「K点突破」(中学)をスローガンに掲げ、さらなる前進を図っていきたいと考えています。

学校法人 九州国際大学 理事長

北村 昌之 Masayuki Kitamura

あらゆる情報が瞬時に手に入り、激変する現代社会。まさに時代は令和のルネサンス、大変革期を迎えています。そのような時代では常に奴隷の視点を持ち、先を見通しながら地域のニーズに応える人材を育成することが肝要であり、それが本学園の使命であると考えます。

そこで、附属中学校・高校においてはICT教育をより充実させ、大学では地域医療の現場の要請を受ける形で2027年4月、看護学部を新設します（設置構想中）。

近年、官民を問わず業務の効率化と労働人口の減少が進み、即戦力が求められるようになったことで新卒人材と職場のミスマッチが課題となっています。本学では密な産学連携を図りながら、全学部において社会で通用する高度な実践的スキルと、大卒人材ならではのリベラルアーツの涵養に力を注ぎます。

学園創起100周年を前に新学部の誕生が良い刺激となり、学園全体がさらなる高みへ進化していくことを願ってやみません。

大学担当理事

九州国際大学 学長

櫻井 弘晃 Hiroaki Sakurai

このたび、業務執行理事を拝命しました学長の櫻井です。

大学は、「VUCAの時代下、地域教育・国際教育を柱として、ステークホルダー（受験生・在学生・保護者・地域社会・卒業生）にとって”魅力溢れる地域No.1大学”としてのPositionを確立します」という中期経営計画の目標を掲げ、現在、新学部の設置に向け鋭意努力しております。

新学部は、北九州に必須な人材の育成を目的としているため、設置されれば、大学にとって地域社会のための進化となり、“魅力溢れる地域No.1大学”に大きく近づきます。もともと地域の勤労青年のための夜学だった本学は、その創起から、地域のための大学を目指してきたといえます。

今後も、「塾的精神」のもと関係者一丸となって切磋琢磨し、教育の充実に努め、地域社会から信頼され愛される大学として進化を続けてまいります。



ともに挑む。
進化する。

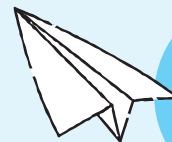


Hiroaki
Sakurai

Masayuki
Kitamura

My
Evolution
Story

できないことより、できることに目を向ける。
視野が、世界が、大きく広がった。



ともに挑む。
進化する。

University

九州国際大学
法学部法律学科4年

中野さん

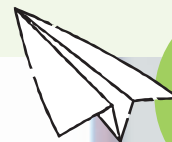
父のような警察官になりたくて法学部へ。地域実習が多いところに惹かれて花松ゼミに入りました。ただ、何でも1人でこなし、無駄話や女子トークが苦手。それでいて、できないことばかりに目が行くタイプだったので、最初は近寄り難いオーラを放っていたと思います(笑)。ところがゼミ生の中にとってもポジティブな人がいて、私の否定的な意見に対し、

違う視点でやんわりと明るい方向を示してくれたのです。自分の視野の狭さに気づかされ、世界が広がった瞬間でした。

ゼミ活動で商店街の方々インタビューをしたり、多様な人と関わることで課題の発見力や解力、コミュニケーション力が身につきました。主将を務めた剣道部では現役の警察官の方々との交流も多く、警察官の仕事につい

ての見識を深めることができました。まさに進化の連続だった4年間。できないことがあっても、「これができるからまあ、いいか」と思える図太さも備わりました。おかげで警察官の採用試験も落ち着いて臨むことができ、すでに内定をいただきました。将来は九国大で学んだリスクマネジメントの手法を活かし、犯罪を未然に防げる警察官になるのが目標です。





ともに挑む。
進化する。

High School

九州国際大学
付属高校3年

河本 さん

付属高校には、校外でスポーツや文化活動に励む生徒をサポートする総合部というクラブがあり、この制度を活用して1年生から自転車競技を始めました。素人からのスタートで最初は練習に付いていくのがやっとでしたが、昨年、九州大会のロードレースで福岡県1位となり、今年は全国高校選抜に出場。150人中39位で完走することができました。

自転車競技というと速さや体力勝負と思われるがちですが、駆け引きや戦略が欠かせない頭脳戦の一面もあります。特に団体戦の場合、チームメイトがスムーズに前に進めるよう、走る位置を調整

し、レース運びに緩急をつけながら、時には自分を犠牲にしなければならぬことも。けれど、そうやって互いが互いのために動くことが勝利につながっていきます。それが競技生活で感じた大きな喜びのひとつです。何よりも風を切って走るの鳥になったような爽快感！景色がどんどん変わり、気分は最高です。

将来は、風や空気抵抗のメカニズムを追求し、より速く、より安全に運行できる飛行機や新幹線などの設計や研究に関わりたいと思っています。3年間、自転車競技に打ち込んだことで、次の新しい景色が見えてきました。



高校公式HPはこちら！

My Evolution Story

3年間、ひたむきにペダルを漕ぐうちに、
次の新しい景色が見えてきた。

ともに挑む。
進化する。

Junior High School

九州国際大学
附属中学校3年

植木さん

剣道部に入ったのは、クラブの雰囲気がとてもよかったからです。入部当初は全てが新しい経験で楽しいことばかりだったものの、怪我をしたり、技が決まらなかったりして落ち込んだ時期もあります。

そんな時、顧問の先生から厳しく指導されたことで負けず嫌いに火がつき、稽古に励むうちに勝てるようになりました。先生は厳しい時もあります。私が初段になった時は「初心者からの昇段は植木さんが初めて！よくやった！」と誰より喜んでくれました。生徒としっかり向き合って、きちんと叱ってくださる先生です。

一番うれしかったのは、最後の北九州市内大会の団体戦で強豪校を相手に互角に戦えたこと。チームがひとつになって次の選手へとつなぎ、引き分けに持ち込むことができました。

私は剣道を始める前は苦手なことで、嫌なことはできるだけ避けるようなタイプでしたが、困難な状況にも冷静に立ち向かえるほど気持ちが強くなりました。稽古に集中することで勉強との切替えもうまくいくようになり、成績も上がりました。剣道を続けて本当によかったと心の底から思います。

今の自分を変えたい人、仲間と一緒に成長したい人は、ぜひ剣道部へ。自信を持つておすすめします。



中学校公式HPはこちら！

My Evolution Story

困難にも正面切って立ち向かっていく。
剣道が強い気持ちを育ててくれた。

インタビュー

Interview

VOL
7

嘘のない授業を行うために、 教材研究に時間をかける。

付属中学校・高校で学び、大学を卒業後、社会科教員として再び母校へ。今年、新卒で赴任されたばかりですが、付属中学校の先生方がみな太鼓判を押すほど「教材研究」に意欲的な工藤先生。在校中の思い出や教員としての心構えなどを伺いました。

九州国際大学
付属中学校 教員

工藤 馨子

教育実習で先生方の 熱意に改めて感動

「教師」は子どもたちが人生の早い段階から接する大人の1人で、その後の人生に多かれ少なかれ影響を与える存在です。私自身、在校中は先生方に手厚くサポートしていただき、悩みや不安に寄り添っていただいたおかげで徐々に自信がつき、前を向くことができるようになりました。

小さい頃から教員になるのが夢だったので、大学は教員免許の取得を前提に学部学科を選択。教育実習では母校の付属中学校にお世話になり、先生方の変わらない熱意ある姿に改めて感動しました。そのため、社会科教員として付属中学校に赴任が決まった時はうれしかったですね。

自ら学ぶ姿勢を育む 体験重視の修学旅行

在校中、最も印象に残っているのは中学校3年時のオーストラリア研修です。現地の姉妹校の生徒たちと母語以外の言語でコミュニケーションをとったり、寝食をともしながら農場で生き物と触れあったり……。単なる物見遊山ではなく、体験重視の修学

旅行で、その時に経験したこと、感じたことは今でも鮮明に覚えています。

付属中学校には生徒が主体的に考え、動くことにより自主性や協働力、責任感などを育む行事がたくさんあります。そのような機会を重ねるうちに自ら学ぶ姿勢も身についていく。向上心あふれる生徒たちと、生徒の思いを尊重しながら全力でサポートする先生方がいらっしやることも本校の魅力のひとつだと思っています。

多感で繊細な中学生 心がけているのは 「嘘を教えないこと」

教員になったら、生徒たちから見れば新人もベテランも等しく「先生」。新人という立場に甘えず仕事に取り組んでいきたいと思っています。何よりも重きを置いて

いるのが「嘘を教えないこと」。中学生という多感で繊細な時期、価値観や人生観の基礎を形成する大切な時期だからこそ、間違ったことを教えてはならないと肝に銘じています。教材研究に時間をかけるのもそのため。教材研究とは、生徒の理解を促し、どんな質問にも答えられるよう授業の前に行う作業で、準備は大変なもの。想定外の鋭い質問が来ると内心ワクワクして、ますます教材研究に力が入ります。生徒の成長の過程に直接関わることができる教員の仕事はやりがいがある一方、責任の重さも感じています。まだまだ未熟で勉強不足、何もかも手探りの状態ですが、時には先輩方に教えを乞いながら日々研鑽に励み、生徒たちとともに成長していきたいと思っています。



九国生たちの熱い戦い

クラブ & サークル活動の記録

University

[報道部]

「UNIVAS AWARDS 2024-25 大学スポーツプロモート優秀取組賞」を受賞しました。文化系サークルとしては初の快挙であり、部員一同、大きな喜びで湧き上がっています。UNIVAS (大学スポーツ協会) は、学生たちが大学スポーツを通じて多くの学びを得られるよう支援し、スポーツの持つ価値や感動を広く社会に届けることを目的としています。今回、このような栄誉ある賞を受賞できたことは、これまでの活動の成果が認められた証です。報道部は、毎週水曜日 18:00 にラジオ番組「ぶっちゃけ!」をスタジオ・グランスカで配信中 (八幡駅前さわらびガーデンモール)。

今回、受賞の決め手となったのは、今年で 3 年目を迎える「サッカー部公式戦の YouTube 実況付きライブ配信」がきっかけです。大学スポーツの魅力を広く伝える試みとして評価されました。令和 6 年度の応募総数は 190 件。九国大報道部は、これから北九州市の情報ははじめ、スポーツの素晴らしさを発信し続け、大学スポーツの価値向上に貢献していきます。今後の活動にもご期待ください!



[ストリートダンス部]

ストリートダンスサークル FLAP です。私たちは、現在、4 年生 2 名、3 年生 8 名、2 年生 7 名、1 年生 2 名の計 19 名で活動しており、部員の半数は大学からダンスを始めた人が多く、ジャンルや経験を問わず、ダンスが好きな仲間が集まる場所です。また、学内や地域のイベント、他大学とのダンスイベントにも積極的に参加しており、イベント時には全員で振り付けを考え、一つのステージを創り上げています。これからも多くの方に楽しいステージをお届けできるように頑張りますので、応援よろしくお願いいたします。



[柔道部] (男子)

第 73 回九州学生柔道優勝大会 2 部 3 位

[剣道部]

令和 7 年度九州学生剣道選手権大会

(男子 1 名 3 回戦進出: 上田稔之)

令和 7 年度九州学生剣道優勝大会

男子団体 3 位 (令和 7 年度全日本学生剣道優勝大会出場)

決定: 令和 7 年 11 月 16 日 (日) 開催予定)

[ウエイトリフティング部]

◎第 85 回全日本選手権大会

67kg 級 6 位 (酒井順一郎 4 年)

109kg 級 7 位 (安藤周粋 2 年)

◎第 39 回全日本女子選手権大会

59kg 級 7 位 (米増希々々 4 年)

71kg 級 6 位 (下村愛里 2 年)

◎2025 東アジア選手権大会

男子 110kg 級 準優勝 (安藤周粋 2 年)

女子 69kg 級 5 位 (下村愛里 2 年)

[サッカー部]

第 40 回九州大学サッカーリーグ 1 部 前期 5 位 3 勝 3 分 3 敗

第 49 回九州大学サッカートーナメント大会 ベスト 8

[バスケットボール部]

第 75 回西日本学生バスケットボール選手権大会 ベスト 32

第 30 回全九州大学春季バスケットボール選手権大会 5 位

令和 7 年度福岡県大学バスケットボール春季リーグ戦 3 位

[硬式野球部]

2025 年度九州六大学野球連盟春季リーグ戦 4 勝 6 敗 (第 4 位)

[バドミントン部]

◎第 65 回九州学生バドミントンリーグ戦大会

男子 1 部 準優勝

◎第 74 回九州学生バドミントン選手権大会

男子団体 A 優勝

男子シングルス A

優勝 浅石裕都

男子ダブルス A

優勝 浅石裕都、山本凜

準優勝 峰元智生、蓬原天空

女子シングルス A

優勝 松本柚希

女子ダブルス A

優勝 松本柚希、吉松百那

High School

[バドミントン部]

令和 7 年度全国高等学校総合体育大会

バドミントン競技

女子団体戦 出場

津山心 (3 年) 濱崎夢菜 (2 年) 金生七海 (2 年)

向江悠伽 (2 年)

男子シングルス 出場

岩見健介 (2 年)



[陸上部]

令和 7 年度全国高等学校総合体育大会

陸上競技

男子 3000m SC

出場 伊藤魁良 (3 年)

女子 400m H

出場 松本鈴美杏 (3 年)



[ウエイトリフティング部]

令和 7 年度全国高等学校総合体育大会

ウエイトリフティング競技

男子 73kg 級 出場 黒木煌明 (3 年)



Junior High School

[バドミントン部]

全国大会出場

私たちは全国制覇を目指して日々の練習に励んでいます。今年度、団体戦 (女子) で市内大会・県大会ともに優勝し、九州大会では厳しい場面が多い中、部員同士で声を掛け合い一丸となって挑み続け、第 3 位という成績を収め、全国大会出場を果たしました。全国大会では強豪校が集う中、1 回戦を突破し、2 回戦に駒を進めましたが惜しくも敗退となりました。全国大会では他校の素晴らしい戦いぶりを目の当たりにし、頂点に立つ厳しさを改めて感じさせられた夏になりました。

来年度は今年度の悔しさをばねに更に精神面・体力面を鍛える努力を重ね、悲願の全国制覇を勝ち取ることを目指して、感謝の気持ちを忘れず、日々の練習をがんばります。

◎第 46 回福岡県中学校バドミントン大会

●団体

【女子】 優勝

山崎美優 (3 年)、竹林あかり (3 年)、水原七菜 (3 年)、益満小蘭 (3 年)、前田和花 (1 年) 吉岡瑞希 (1 年)、後藤愛梨 (1 年)

●シングルス

【女子】山崎美優 (3 年) ベスト 8 前田和花 (1 年) ベスト 8

●ダブルス

【女子】水原七菜 (3 年)・益満小蘭 (3 年) ベスト 8

◎第 54 回九州中学校バドミントン大会

●団体

【女子】 第 3 位

山崎美優 (3 年)、竹林あかり (3 年)

水原七菜 (3 年)、益満小蘭 (3 年)

前田和花 (1 年)、吉岡瑞希 (1 年)

後藤愛梨 (1 年)

◎第 55 回全国中学校バドミントン大会

●団体

【女子】 ベスト 16

山崎美優 (3 年)、竹林あかり (3 年)

水原七菜 (3 年)、益満小蘭 (3 年)

前田和花 (1 年)、吉岡瑞希 (1 年)

後藤愛梨 (1 年)





University

法学部新任教員・酒井健太郎先生、小野純司先生を紹介します

高レベルで
わかりやすい授業がモットー



酒井健太郎先生

教職課程科目を担当されている酒井先生のご専門は古代ギリシア哲学や教育哲学です。「思いなし(ドクサ)」や「教養・教育(パイデアー)」をテーマに研究を進められています。

「高レベルでわかりやすい授業」を抱負に掲げ、「大学は研究に裏打ちされた教育が使命。学生のみなさんもぜひ研究の雰囲気に触れてください」とメッセージを寄せられました。

現役弁護士ならではの
実務的な学びを



小野純司先生

10年ぶりに母校・九国大に戻られた小野先生は、主に実務家としての経験を教授する法職科目を担当されています。本学進学後、資格を活かした仕事をしたいと考えようになり、恩師・堀田泰司名誉教授の後押しもあって司法試験に挑戦し見事合格されました。現在弁護士として活躍する小野先生は、「後輩に夢をつなぎたい」と本学での意気込みを語られました。

塾的精神への原点回帰！現代ビジネス学部

八幡防災塾による
共助防災へのアプローチ



防災人材の育成を目指し8年前に発足した地域防災リーダー育成プロジェクトを基盤に、今年度から村岡治道准教授を顧問に迎えた「八幡防災塾」が新たに始動しました。5月の「よこしろ防災チャレンジ」応援や8月の市民カレッジ「親子でぼうさい」主催など活動は多岐にわたり、評価も高まっています。

現在10名が所属し、塾頭は小野さん、副頭は赤澤さん。2人はリーダーシップを発揮しつつ6月には防災士資格も取得しました。今後は尾倉市民センターでの講習会や留学生向け研修、本学最大規模の防災イベント「北九州エマージェンシードリル：KED2025」も予定されており、さらなる活躍が期待されます。

八幡起業塾での
アントレプレナーシップの醸成



昨年発足し2年目を迎えた八幡起業塾では、6月に2代目塾頭となった新井さんの発案で、月次定例座談会がスタートしました。初回は国際社会学科OBで経営アドバイザーの中尾瑞安氏を招き、外食産業の最新トレンドについて議論しました。

今年度から会計学の姫艶彦准教授が顧問に就任し、財務・会計面でケーススタディを指導。特に福岡ひびき信用金庫主催「ビジネスモデルコンテスト」では、遊休不動産活用をテーマに、新井さんを含む選抜チームが12月の報告会に向け現地調査を進めています。

恒例の広島合宿では、農業法人視察や広島経済大学との交流、学術講演会での運営支援など、多彩な活動が予定されています。

High School

過去最高の参加人数だった 第2回オープンスクール



今年度もオープンスクールが盛り上がり、近年では最多の1,331名にご参加いただきました。九国の魅力を感じてもらうために中学生向けに工夫した模擬授業も大人気！今年の入学生からも他校にはない模擬授業の面白さが入学動機の一つだったと聞いています。食堂の試食は大行列ができるほどの盛況ぶりでした。来年以降もこの人気を守っていくために教職員一丸となって魅力的な学校づくりに努めていきます。

涼しくて動きやすい 3代目の制服を導入



男子部女子部時代の制服から共学の制服に替わって以来、新たに3代目となる制服が登場！ポロシャツとハーフパンツの制服が導入され、第1回オープンスクールでお披露目となりました。これなら猛暑の夏の登下校も辛くないと、生徒たちにも好評です。ポロシャツは、ネイビーとライトブルーの2色。ハーフパンツもネイビーとカーキを用意し、好きな組合せで使えるようにしています。

Junior High School

シリーズ授業は 3年目を迎えました



文理を超えた知識を身につけ、真理を追究する力を培うことを目標に、2年生が「エネルギー」をテーマに学習しています。知識を得る段階では理科を中心に家庭科や体育も関わり、多面的・多角的に考える段階では数学や社会、英語も加わってエネルギーや発電を考える視点を獲得しています。その上で「最強の発電方法」について自分で考え、日本語や英語で論理的にまとめ、伝えていきます。

1年生の九国チャレンジ教室 成功裏に終了



1年生にとって初めての宿泊研修が宗像のグローバルアリーナで行われました。集団行動やダンスの発表会、レクリエーションなどを通して、クラスや学年の団結力を高めました。

また初の試みである北九州市立大学の留学生との国際交流を楽しみました。サプライズとして行われた保護者からの手紙を読んで涙を流す生徒もいました。

学校法人 九州国際大学 令和6年度 決算状況

学校法人会計は「予算制度」が採用されており、会計年度毎に作成された予算に基づき教育活動等を実施しています。これらの諸活動の結果をあらわす令和6年度の本法人の決算状況について、事業活動収支計算書をもとに説明いたします。

この事業活動収支計算書は、当該年度の収支の均衡状態を明らかにすることを目的としており、経常的な収支である「①教育活動収支」、「②教育活動外収支」及び臨時的収支である「③特別収支」の3つの区分で構成されております。「①教育活動収支」における収入は38億3,049万円、支出は38億1,169万円となり、当該区分における教育活動収支差額は、1,880万円の収入超過となっております。「②教育活動外収支」における収入は842万円、支出は0円となり、当該区分における教育活動外収支差額は、842万円の収入超過となっております。「③特別収支」における収入は708万円、支出は352万円となり、当該区分における特別収支差額は356万円の収入超過となっております。これらを総じて、事業活動収入は38億4,599万円、事業活動支出は38億1,521万円となっています。

このように区分毎の収支を踏まえた本法人の決算は、基本金組入前当年度収支差額が3,078万円の収入超過となり、当年度収支差額は1億6,071万円の支出超過となっております。

なお、本法人が保有する金融資産の増減について、令和7年3月末現在の次年度繰越支払資金等（有価証券10億151万円含む）は39億6,608万円となり、前年度末より895万円減少しました。「退職給与引当特定資産」は9億871万円で、学校法人会計基準に基づき当期末退職給与引当金計上額の100%を積み立てた金額となっております。「減価償却引当特定資産」は将来の施設設備の更新に備え、5,000万円を繰入れ19億1,453万円となっています。これらをあわせた金融資産残高は、前年度末と比較して1,307万円増加しています。

(注) 単位(万円)未満は四捨五入して表記しています。

事業活動収支計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：千円)

	収入事業活動	科目		予算	決算	差異
①教育活動収支	収入事業活動	学生生徒等納付金		2,511,217	2,508,176	3,041
		手数料		77,330	77,571	△ 241
		寄付金		9,084	9,668	△ 584
		経常費等補助金		983,421	983,677	△ 256
		付随事業収入		21,921	22,491	△ 570
		雑収入		225,252	228,905	△ 3,653
		教育活動収入計		3,828,225	3,830,488	△ 2,263
	支出事業活動	人件費		2,220,397	2,218,110	2,287
		教育研究経費		1,264,728	1,236,151	28,577
		管理経費		369,387	357,428	11,959
		徴収不能額等		0	0	0
		教育活動支出計		3,854,125	3,811,690	42,822
		教育活動収支差額		△ 26,287	18,799	△ 45,086
		経常収支差額		△ 17,887	27,221	△ 45,108
②教育活動外収支	収入事業活動	受取利息・配当金		8,400	8,423	△ 23
		その他の教育活動外収入		0	0	0
		教育活動外収入計		8,400	8,423	△ 23
		教育活動外支出計		0	0	0
	支出事業活動	借入金等利息		0	0	0
		その他の教育活動外支出		0	0	0
		教育活動外支出計		0	0	0
		教育活動外収支差額		8,400	8,423	△ 23
	特別収支	資産売却差額		0	0	0
		その他の特別収入		4,095	7,076	△ 2,981
③特別収支	収入事業活動	特別収入計		4,095	7,076	△ 2,981
	支出事業活動	資産処分差額		0	3,517	△ 3,517
		その他の特別支出		0	0	0
		特別支出計		0	3,517	△ 3,517
	特別収支差額			4,095	3,559	536
		〔予備費〕		10,000		10,000
	基本金組入前当年度収支差額			△ 23,792	30,780	△ 54,572
		基本金組入額合計		△ 203,205	△ 191,495	△ 11,710
		当年度収支差額		△ 226,997	△ 160,714	△ 66,283
		前年度繰越収支差額		△ 5,166,974	△ 5,116,974	△ 50,000
基本金取崩額	基本金取崩額			0	0	0
		翌年度繰越収支差額		△ 5,393,971	△ 5,277,688	△ 116,283
	基本金組入前当年度収支差額					
	基本金組入前当年度収支差額					

【語句説明】：事業活動収支計算書にのみ表れる主な科目

【事業活動収入】

学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金等収入のうち、負債とならず自己資金となる収入です。よって、借入金や貸付金回収、預り金（他に支払う為に一時的に金銭を受け入れたもの）や前受金（翌年度の活動における前年度入金分）など自己資金ではないものは表示されません。その一方で、現物寄付など資金の受け入れではないものも事業活動収入となります。

【事業活動支出】

人件費、教育研究経費、管理経費等の支出をいい、学校法人の純資産の減少をもたらす支出のことです。そのため、固定資産取得に係る支出や借入金返済、貸付金支出等は事業活動支出とはなりません、引当金の繰入や減価償却などは事業活動支出になります。

【資産売却差額・資産処分差額】

不動産や有価証券などを売却した際の売却額と帳簿価額の差額をいいます。資産を売却した際、売価が資産の帳簿価格を上回った場合、その額を資産売却差額として計上します。資産を売却した際、売価が資産の帳簿価格を下回った場合、その額を資産処分差額として計上します。

【徴収不能額】

得るべき収入が徴収不能になった際、徴収不能引当金を設けていない場合やその額が徴収不能引当金残高を超えている場合に計上します。なお、本来得るべき収入のうち、その回収不能額を見積もって引当金を設ける場合には、徴収不能引当金繰入額を計上します。

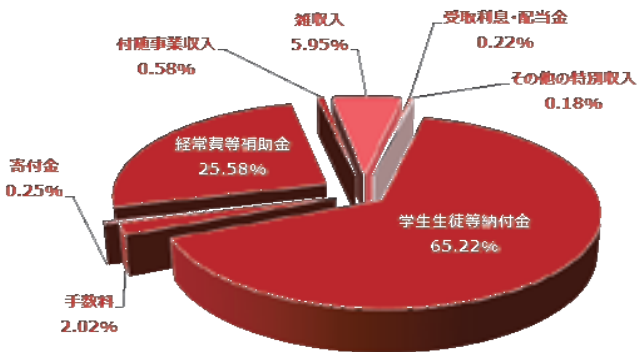
【基本金組入額】

学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を保有し、これを永続的に維持する必要があります。学校会計では、当該年度にこれらの資産の取得に充てた金額を基本金へ組入れる仕組みとなっています。この基本金の対象は、「学校法人会計基準」において、次の4項目に分類されています。

- 【第1号基本金】：設立当初に取得した固定資産、並びに設立後新たな学校の設置、学部学科の増設、定員や実員の拡大による規模の拡大及び教育の充実向上のために取得した固定資産の額。
- 【第2号基本金】：第1号の資産を将来取得するために充てる金銭その他の資産の額。
- 【第3号基本金】：基金として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他の資産の額。
- 【第4号基本金】：恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額。

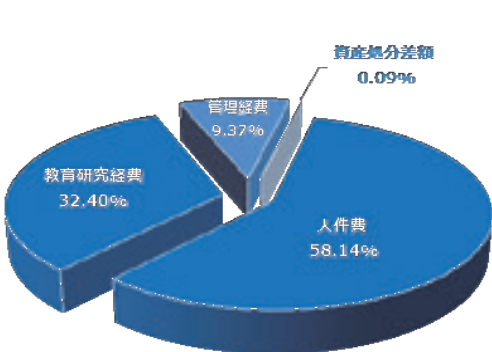
事業活動収入に対する各費目の占める割合

事業活動収入計（3,845百万円）



事業活動支出に対する各費目の占める割合

事業活動支出計（3,815百万円）



(注) 各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計と一致していない場合や実際の計算書類と一致していない場合があります。

資金収支計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：千円)

収入の部	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,511,217	2,508,176	3,041
手数料収入	77,330	77,571	△ 241
寄付金収入	9,266	9,628	△ 362
補助金収入	987,334	987,335	△ 1
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	21,921	22,491	△ 570
受取利息・配当金収入	8,400	8,423	△ 23
雑収入	225,252	228,905	△ 3,653
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	342,990	357,951	△ 14,961
その他の収入	114,821	220,102	△ 105,282
資金収入調整勘定	△ 520,183	△ 526,769	6,586
前年度繰越支払資金	3,273,516	3,273,516	0
収入の部合計	7,051,863	7,167,329	△ 115,466
支出の部	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,248,156	2,246,178	1,978
教育研究経費支出	993,827	965,547	28,280
管理経費支出	333,113	321,134	11,979
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	144,762	144,692	70
設備関係支出	58,443	56,631	1,812
資産運用支出	350,000	450,416	△ 100,416
その他の支出	48,239	55,415	△ 7,175
[予備費]	10,000		10,000
資金支出調整勘定	△ 21,548	△ 37,253	15,705
次年度繰越支払資金	2,886,871	2,964,569	△ 77,698
支出の部合計	7,051,863	7,167,329	△ 115,466

活動区分資金収支計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	2,508,176
手数料収入	77,571
特別寄付金収入	9,446
経常費等補助金収入	983,677
付随事業収入	22,491
雑収入	228,905
教育活動資金収入計	3,830,266
人件費支出	2,246,178
教育研究経費支出	965,547
管理経費支出	321,134
教育活動資金支出計	3,532,859
差引	297,407
調整勘定等	△ 103,377
教育活動資金収支差額	194,031
科 目	金 額
施設設備寄付金収入	182
施設設備補助金収入	3,658
減価償却引当特定資産取崩収入	100,000
施設整備等活動資金収入計	103,840
施設関係支出	144,692
設備関係支出	56,631
減価償却引当特定資産繰入支出	150,090
施設整備等活動資金支出計	351,413
差引	△ 247,573
調整勘定等	10,286
施設整備等活動資金収支差額	△ 237,287
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 43,256
科 目	金 額
退職給与引当特定資産取崩収入	28,395
仮払金回収収入	201
修学・研修旅行費預り資産取崩収入	5,120
小計	33,716
受取利息・配当金収入	8,423
その他の活動資金収入計	42,138
有価証券購入支出	300,000
退職給与引当特定資産繰入支出	327
修学・研修旅行費預り金支払支出	5,009
預り金支払支出	1,117
立替金支出	584
小計	307,036
その他の活動資金支出計	307,036
差引	△ 264,898
調整勘定等	△ 793
その他の活動資金収支差額	△ 265,691
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 308,947
前年度繰越支払資金	3,273,516
翌年度繰越支払資金	2,964,569

【語句説明】資金収支計算書にのみ表れる主な科目

【前受金収入】

翌年度の活動に対する収入をいいます(新入生の入学金・授業料等)。

【資金調整勘定(資金収入調整勘定、資金支出調整勘定)】

資金収入調整勘定とは、当年度の諸活動に対する収入で前年度以前に資金の収入になったもの及び当年度の諸活動に対する収入で翌年度以降に資金が受け入れられるものです。
資金支出調整勘定は、当年度の諸活動に対応する支出で前会計年度以前において支払資金の支出となったもの及び当年度の諸活動に対応する支出で翌会計年度以後において支払資金の支出となるべきものをいいます。

【語句説明】資金収支計算書及び事業活動収支計算書に共通して表れる主な科目

【学生生徒等納付金】

在学又は入学の条件として、所定の額を義務的にかつ一律に納付すべきものです。授業料、教育充実費、入学金等の学生・生徒から納入されるもので、収入のうちで最も大きな割合を占めます。

【手数料】

入学試験、転入学試験等のために徴収する収入です。
具体的には、入学検定料、試験料、証明書発行手数料をいいます。

【経常費等補助金】

国・地方公共団体及びこれに準ずる機関から交付される補助金をいいます。

【受取利息・配当金】

預貯金や有価証券等の利息・配当金収入をいいます。

【付随事業収入】

食堂、売店、寄宿舎等の補助活動収入、外部から委託を受けて行う受託事業収入などをいいます。

【雑収入】

学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいいます。これには、私学事業団等から退職金資金その他の交付金を受けたときの収入も含まれます。

【人件費】

専任教職員、非常勤講師などに支給する本俸・期末手当・その他の手当・所定福利費、理事及び監事に支払う報酬などをいいます。

【教育研究経費】

教育研究のために支出する経費をいいます。

【管理経費】

総務・人事・経理業務や学生募集のための支出などで、教育研究以外の経費をいいます。

学校法人会計について

学校法人はその教育研究活動を行うにあたって必要な施設や設備、経営に必要な財産を持つために、国または地方公共団体等から補助を受けています。これら補助金の交付を受けている学校法人は私立学校振興助成法の定めにより「学校法人会計基準(昭和46年文部省令制定)」という会計ルールに従い計算書類を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。

このように、公共性・安定性・継続性が求められる私立学校においては、中長期的にわたって持続的な経営を維持するために収支均衡を図るべく、適正な会計処理を行うための統一的な学校法人会計基準が定められています。

企業会計と学校法人会計の違い

教育・研究活動を事業目的とする学校法人会計は、学校法人の持続的な発展と教育研究活動の円滑な遂行のために、「教育水準の維持向上」、「収支均衡」、「予算主義」という3つの概念に基づき運営され、収支の均衡と財政の状態を正しく捉えることを目的としています。

一方、営利の追求を事業目的としている企業会計の考え方は、損益が重視され、収益と費用を正しく捉え、営業年度の正しい損益を計算し、企業の財政状態を知ることによって、より高い収益を追求することを目的としています。

このように、一般企業は利益を得る目的で存在していますが、学校法人は教育研究活動を目的とした非営利法人です。法人の存在理由が異なるため、会計の目的が異なっています。

計算書類について

(1) 資金収支計算書

当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の動きを記録することによって収入と支出の内容を明らかにし、当該年度の支払資金(現金及び預貯金)の期末を表すものです。

※活動区分資金収支計算書

資金収支計算書の決算額を「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の3つの活動区分で表示し、経営判断に資する財務情報を提供するものです。

活動区分資金収支計算書は、予算と決算との差異を表示する制度(様式)ではないため、予算書の作成は求められていません。

(2) 事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動収支の内容を明確にし、事業活動収支の均衡を表すものです。計算書の構造は、本業である教育・研究活動(教育活動収支)と財務活動で生じる利息等(教育活動外収支)、資産売却等の臨時的収支(特別収支)に区分され、各区分の収支差額から経営状態の健全性を把握することができます。

(3) 貸借対照表

当該会計年度末における資産・負債・純資産(基本金及び収支差額)の状況を把握し、財政状態の健全性を表すものです。

貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部				負債の部			
科目	R6	R5	増減	科目	R6	R5	増減
固定資産	17,272,099	17,055,677	216,422	固定負債	908,711	936,779	△ 28,068
●有形固定資産	13,409,328	13,514,927	△ 105,599	退職給与引当金	908,711	936,779	△ 28,068
土地	5,270,389	5,270,389	0	流動負債	536,102	533,404	2,698
建物	5,295,464	5,425,121	△ 129,658	短期未払金	35,962	47,808	△ 11,846
構築物	527,448	515,530	11,918	前受金	357,951	347,409	10,542
●教育研究用機器備品	365,134	374,311	△ 9,177	仮受金	0	0	0
●管理用機器備品	46,748	48,445	△ 1,697	預り金	54,451	55,568	△ 1,117
図書	1,882,259	1,876,727	5,533	修学・研修旅行費預り金	87,738	82,618	5,120
車両	16,055	4,404	11,651	負債の部合計	1,444,813	1,470,183	△ 25,370
建設仮勘定	5,830	0	5,830	純資産の部			
特定資産	2,823,243	2,801,221	22,021	科目	R6	R5	増減
●退職給与引当特定資産	908,710	936,778	△ 28,068	基本金	24,338,237	24,146,742	191,495
●減価償却引当特定資産	1,914,533	1,864,443	50,090	第1号基本金	24,067,237	23,875,742	191,495
その他の固定資産	1,039,529	739,529	300,000	第4号基本金	271,000	271,000	0
電話加入権	3,203	3,203	0	繰越収支差額	△ 5,277,688	△ 5,116,974	△ 160,714
有価証券	1,001,512	701,512	300,000	翌年度繰越収支差額	△ 5,277,688	△ 5,116,974	△ 160,714
預託金	34,815	34,815	0	純資産の部合計	19,060,549	19,029,769	30,780
流動資産	3,233,263	3,444,274	△ 211,011	負債及び純資産の部合計	20,505,362	20,499,952	5,411
●現金預金	2,964,569	3,273,516	△ 308,947				
●未収入金	179,360	86,387	92,973				
●貯蔵品	301	336	△ 35				
修学・研修旅行費預り資産	87,405	82,396	5,009				
前払金	897	1,291	△ 394				
仮払金	148	349	△ 201				
立替金	584	0	584				
資産の部合計	20,505,362	20,499,952	5,411				

【語句説明】：貸借対照表に表れる主な科目

【○○○引当特定資産】

施設の増設や改築、機器備品その他の設備の拡充や買い替え、退職金の支払いなど、将来の特定の支出に備えるために資金を留保した場合に設ける勘定科目です。このような資金留保は、経営方針に基づく長期的な資金計画によって実行されます。

【有価証券】

国債・地方債・社債・金融債・株式などがあり、会計年度末後1年を超えて保有する目的のものは「その他の固定資産」に計上します。一時的（短期的）な保有を目的とするものは、「流動資産」に計上します。

【現金預金】

現金、銀行の各種預金、郵便貯金などです。「現金預金」の額は、資金収支計算書の「次年度繰越収支差額」と一致します。

【借入金】

長期借入金は、返済期限が年度末後1年を超えて到来する借入金で「固定負債」に計上します。短期借入金は、返済期限が年度末後1年以内に到来する借入金で「流動負債」に計上します。

【預り金】

給料・報酬などにかかる源泉所得税、住民税など学校法人の事業活動収入にならない、他に支払うための一時的な金銭の受入額をいいます。

【繰越収支差額】

当期以前の各年度の事業活動収入から事業活動支出を差し引いた差額の累計額です。

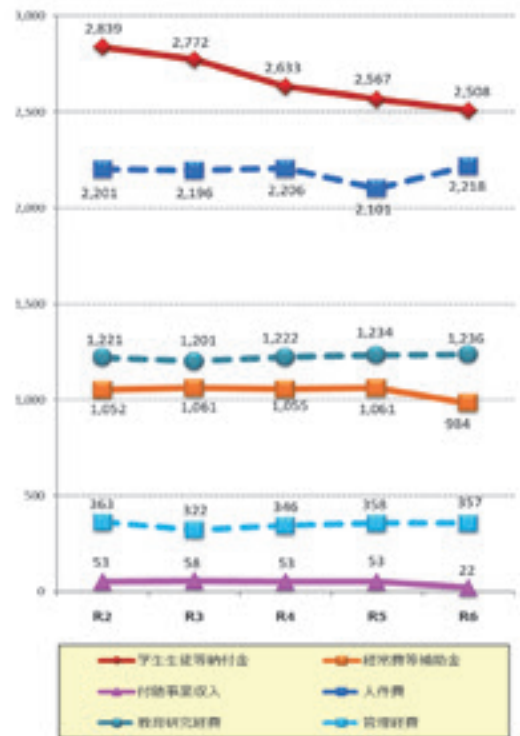
事業活動収支計算書（経年比較）

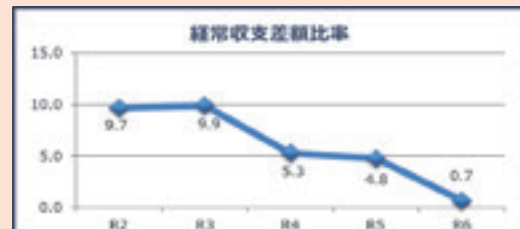
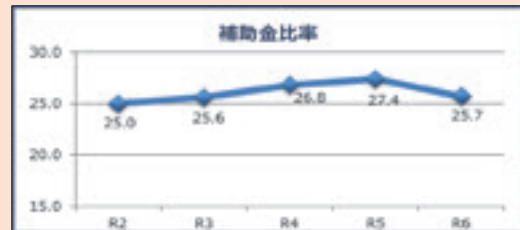
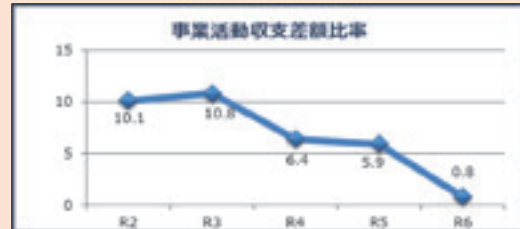
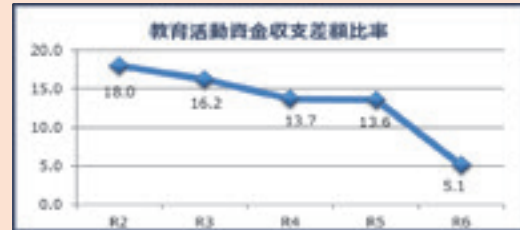
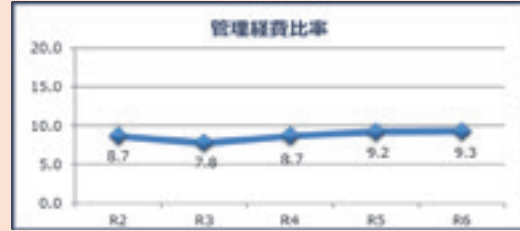
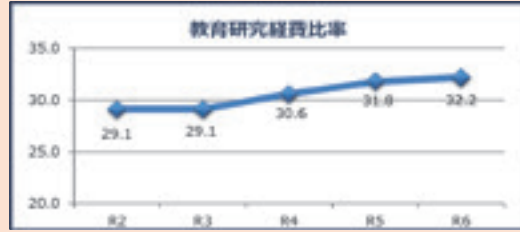
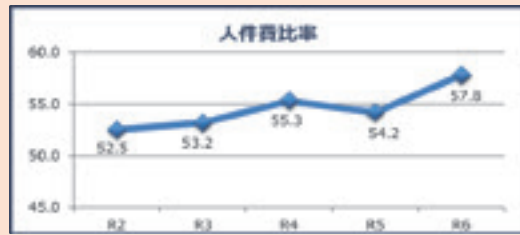
(単位：千円)

科目	R2	R3	R4	R5	R6
収入					
学生生徒等納付金	2,838,953	2,772,455	2,633,069	2,566,570	2,508,176
手数料	72,325	70,797	71,304	76,514	77,571
寄付金	1,337	15,834	6,710	11,324	9,668
経常費等補助金	1,052,023	1,060,503	1,054,534	1,061,486	983,677
付随事業収入	53,329	57,993	53,336	52,780	22,491
雑収入	171,819	144,582	164,226	106,233	228,905
教育活動収入計	4,189,786	4,122,164	3,983,179	3,874,907	3,830,488
支出					
人件費	2,201,371	2,196,165	2,206,244	2,101,283	2,218,110
教育研究経費	1,220,856	1,201,326	1,222,010	1,233,894	1,236,151
管理経費	363,409	321,957	345,600	357,759	357,428
徴収不能額等	30	0	0	0	0
教育活動支出計	3,785,666	3,719,448	3,773,854	3,692,936	3,811,690
教育活動収支差額	404,120	402,716	209,324	181,973	18,799
収入					
受取利息・配当金	4,807	4,201	3,865	5,329	8,423
その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
教育活動外収入計	4,807	4,201	3,865	5,329	8,423
支出					
借入金等利息	236	0	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	236	0	0	0	0
教育活動外収支差額	4,571	4,201	3,865	5,329	8,423
経常収支差額	408,691	406,917	213,189	187,302	27,221
特別収入					
資産売却差額	0	0	0	0	0
その他の特別収入	17,846	62,186	46,976	61,795	7,076
特別収入計	17,846	62,186	46,976	61,795	7,076
特別支出					
資産処分差額	2,308	2,202	1,967	16,483	3,517
その他の特別支出	0	13,775	0	178	0
特別支出計	2,308	15,977	1,967	16,661	3,517
特別収支差額	15,538	46,209	45,009	45,134	3,559
基本金組入前当年度収支差額	424,229	453,126	258,198	232,436	30,780
基本金組入額合計	△ 277,103	△ 225,124	△ 225,727	△ 102,741	△ 191,495
当年度収支差額	147,126	228,002	32,470	129,695	△ 160,714
前年度繰越収支差額	△ 6,041,373	△ 5,894,247	△ 5,666,245	△ 5,633,774	△ 5,116,974
基本金取崩額	0	0	0	387,106	0
翌年度繰越収支差額	△ 5,894,247	△ 5,666,245	△ 5,633,774	△ 5,166,974	△ 5,277,688
(参考)					
事業活動収入計	4,212,439	4,188,551	4,034,019	3,942,033	3,845,987
事業活動支出計	3,788,210	3,735,425	3,775,822	3,709,597	3,815,206

(注) 各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計と一致していない場合や実際の計算書類と一致していない場合があります。

事業活動収支の主な科目の推移





(注) 財務比率の評価等について

財務比率の評価は、各学校法人の内部事情等を個別に判断しなければ、一概にその良否をいえませんが、財務比率の高低の評価を以下のとおりとしています。

[△ : 高い値が良い ▼ : 低い値が良い — : どちらともいえない]

(注) 貸借対照表関係比率に表示される項目の説明

- ① 運用資産 = 特定資産 + 有価証券 (固定資産) + 有価証券 (流動資産) + 現金預金
- ② 外部負債 = 借入金 + 学校債 + 未払金 + 手形債務
- ③ 要積立額 = 減価償却累計額 + 退職給与引当金 + 第2号基金 + 第3号基金

貸借対照表関係財務比率

No.	比 率	算 式	R2	R3	R4	R5	R6	評価
1	固定資産 構成比率	固定資産 総 資 産	83.7%	83.2%	83.3%	83.2%	84.2%	▼
2	有形固定資産 構成比率	有形固定資産 総 資 産	70.3%	68.6%	67.3%	65.9%	65.4%	▼
3	特定資産 構成比率	特定資産 総 資 産	12.7%	12.9%	13.3%	13.7%	13.8%	△
4	流動資産 構成比率	流動資産 総 資 産	16.3%	16.8%	16.7%	16.8%	15.8%	△
5	固定負債 構成比率	固 定 負 債 総負債 + 純資産	4.8%	4.7%	4.7%	4.6%	4.4%	▼
6	流動負債 構成比率	流 動 負 債 総負債 + 純資産	3.4%	3.0%	2.8%	2.6%	2.6%	▼
7	内部留保 資産比率	運用資産 - 総負債 総 資 産	20.2%	22.5%	23.9%	25.9%	26.1%	△
8	運用資産余裕比率	運用資産 - 外部負債 経 常 支 出	1.5%	1.6%	1.7%	1.8%	1.8%	△
9	純資産構成比率	純 資 産 総負債 + 純資産	91.8%	92.2%	92.5%	92.8%	93.0%	△
10	繰越収支差額 構成比率	繰越収支差額 総負債 + 純資産	△ 29.9%	△ 28.2%	△ 27.7%	△ 25.0%	△ 25.7%	△
11	固定比率	固 定 資 産 純 資 産	91.1%	90.2%	90.1%	89.6%	90.6%	▼
12	固定長期適合率	固 定 資 産 純資産 + 固定負債	86.7%	85.8%	85.7%	85.4%	86.5%	▼
13	流動比率	流 動 資 産 流 動 負 債	473.8%	554.7%	593.1%	645.7%	603.1%	△
14	総負債比率	総 負 債 総 資 産	8.2%	7.8%	7.5%	7.2%	7.0%	▼
15	負債比率	総 負 債 純 資 産	8.9%	8.4%	8.1%	7.7%	7.6%	▼
16	前受金保有率	現 金 預 金 前 受 金	692.6%	892.3%	849.1%	942.3%	828.2%	△
17	退職給与引当 特定資産保有率	退職給与引当特定資産 退職給与引当金	100.0%	97.9%	100.0%	100.0%	100.0%	△
18	基本金比率	基 本 金 基本金要組入額	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	△
19	減価償却比率	減価償却累計額 (図書を除く) 減価償却資産取得価額 (図書を除く)	59.5%	60.5%	61.6%	62.8%	63.9%	—
20	積立率	運 用 資 産 要 積 立 額	51.9%	54.7%	55.8%	58.0%	58.4%	△

事業活動収支計算書関係比率

No.	比 率	算 式	R2	R3	R4	R5	R6	評価
1	人件費比率	人件費 経常収入	52.5%	53.2%	55.3%	54.2%	57.8%	▼
2	人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	77.5%	79.2%	83.8%	81.9%	88.4%	▼
3	教育研究 経費比率	教育研究経費 経常収入	29.1%	29.1%	30.6%	31.8%	32.2%	△
4	管理経費比率	管理経費 経常収入	8.7%	7.8%	8.7%	9.2%	9.3%	▼
5	借入金等 利息比率	借入金等利息 経常収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▼
6	事業活動収支 差額比率	基本金組入前当年度収支差額 事業活動収入	10.1%	10.8%	6.4%	5.9%	0.8%	△
7	基本金組入後 収支比率	事業活動支出 事業活動収入 - 基本金組入額	96.3%	94.2%	99.1%	96.6%	104.4%	▼
8	学生生徒等 納付金比率	学生生徒等納付金 経常収入	67.7%	67.2%	66.0%	66.1%	65.3%	—
9	寄付金比率	寄付金 事業活動収入	0.5%	1.6%	0.6%	1.4%	0.3%	△
	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金 経 常 収 入	0.0%	0.4%	0.2%	0.3%	0.3%	△
10	補助金比率	補助金 事業活動収入	25.0%	25.6%	26.8%	27.4%	25.7%	△
	経常補助金比率	教育活動収支の補助金 経常収入	25.1%	25.7%	26.4%	27.4%	25.6%	△
11	基本金組入率	基本金組入額 事業活動収入	6.6%	5.4%	5.6%	2.6%	5.0%	△
12	減価償却額比率	減価償却額 経常支出	8.1%	8.3%	8.7%	8.8%	8.0%	—
13	経常収支差額比率	経常収支差額 経常収入	9.7%	9.9%	5.3%	4.8%	0.7%	△
14	教育活動収支 差額比率	教育活動収支差額 教育活動収入計	9.6%	9.8%	5.3%	4.7%	0.5%	△

(注) 「経常収入」 = 教育活動収入計 + 教育活動外収入計

「経常支出」 = 教育活動支出計 + 教育活動外支出計

活動区分資金収支計算書関係比率

No.	比 率	算 式	R2	R3	R4	R5	R6	評価
1	教育活動資金 収支差額比率	教育活動資金収支差額 教育活動資金収入計	18.0%	16.2%	13.7%	13.6%	5.1%	△

(注) 教育活動資金収支差額 = 教育活動資金収入計 - 教育活動資金支出計 + 教育活動調整勘定等

学校法人 九州国際大学

■大学 法学部／法律学科 現代ビジネス学部／地域経済学科・国際社会学科
■大学院 法学研究科
■付属高等学校 全日制課程（健康クラス／S特進クラス／特進クラス／進学クラス／トリアスリートクラス）
■付属中学校



地域とつながりながら、未来へ羽ばたくために

本学園では建学の精神でもある「塾的精神」に基づき、開学以来の使命である北九州地域の発展や活性化に寄与することができる人材育成に力を注いでおります。2030（令和12）年の創起100周年に向けて、学生や生徒たちが地域とつながりながらさらに大きく羽ばたいていくことを願い、新たな寄附金制度「Habatakuみらい募金」を設置いたしました。今後も本学園を支えてくださるみなさまから、より一層信頼され、評価をいただけますよう教職員一丸となって教育改革に邁進してまいります。募金のお主旨にご賛同いただき、温かいご支援、ご協力を賜りますよう、慎んでお願い申し上げます。



学校法人 九州国際大学
理事長 北村 昌之

Habataku みらい募金

◎募集期間/2028年3月31日まで ◎目標額/1億円

〔募金の活用法について〕

みなさまからいただいた浄財は、希望されるサポート内容に充当させていただきます。

1 教育・研究サポート
特色ある教育及び研究を
充実させるための環境整備。

2 就職・進学サポート
就職実績、進学実績の
質的・量的向上に向けた取り組み。

3 地域連携サポート
地域の発展に寄与し、
地域社会に貢献できる人材育成。

4 国際人育成サポート
国際人に必須の語学力強化、
海外協定校との異文化交流など。

5 課外活動サポート
友と切磋琢磨する時間を育む
体育系・文科系部活動の活性化。

6 施設・設備拡充サポート
安全で充実した学校生活のための
施設・設備の拡充と整備。

7 使途指定募金サポート 〈思いをカタチに。支援したいコトやモノをご指定いただける〉
新学部開設を支援したい、特定のクラブ活動の全国大会出場を応援したい、留学する学生・生徒の支援をしたいなど、使途や目的を指定してご支援いただくオーダーメイド感覚の募金です。

※とくに使途の指定がない場合は教育研究活動に充当させていただきます。

※詳細は、「学校法人九州国際大学ホームページ」をご確認ください。 <https://www.kiu.ac.jp/hq/contribution/>

お問い合わせ先

学校法人 九州国際大学 法人事務局寄附金担当

〒805-8513 北九州市八幡東区平野二丁目5番1号

TEL: (093) 671-8900 FAX: (093) 671-9032

E-mail: kifu@office.kiu.ac.jp

九州国際大学 募金 検索



藤原（ふじわら）さん

現代ビジネス学部地域経済学科 3年、村上ゼミ。2年次から1年間、ニュージーランドへ留学。その経験や達者な英語力を活かし、将来はアジア圏を舞台にした貿易会社を起業するのが夢。

上川（うえかわ）さん

現代ビジネス学部地域経済学科 2年、福島ゼミ。小さい頃から、何かを形にするのが得意。卒業後は、スポーツ団体のマネジメントや、地域のスポーツイベントの企画・運営などに携わりたい。